

学習指導要領		都立府中高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たちの生きる社会</p>	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・深刻化する地球環境問題を取り上げ、さまざまな取り組みについて考えさせる。 ・生命科学や医学の進歩とともに生じる人間の生命に関する問題を考えさせる。 ・脳死と臓器移植について、問題点、課題を理解し、臓器移植法改正をふまえ「脳死は人の死」というテーマについて考えさせる。 ・現代の宗教や芸術の意義について考えさせ、それが日常生活の中でいかに影響を及ぼしているかを考えさせる。 ・高齢社会の現状と問題について理解させ、福祉社会の実現のために必要なことはなにかについて考えさせる。
<p>(2) 現代社会と人間としての在り方生き方</p>	<p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成</p> <p>生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義</p> <p>基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青年は様々な欲求不満と適応行動の繰り返しの中から自我が目覚め、個性形成の時期であることを理解させる。 ・青年期の意義と自己形成の課題について考察させ、青年期は自己を確立しようとする時期であることを理解させる。 ・情報の主体的な選択の能力を養い、情報モラルの確立の重要性を自覚させる。 ・加速するグローバル化の動きやボーダレス時代の特徴を理解させ、異文化理解について考えさせる。 ・基本的人権がどのように成立したかを理解させ、意義について考えさせる。 ・明治憲法と日本国憲法の制定過程について理解させ、日本国憲法成立の意義について考えさせる。 ・判例を適宜活用し、基本的人権の保障の意義について考えさせる。 ・新しい人権が誕生してきた背景を理解させ、その課題について考えさせる。

学習指導要領	都立府中高校 学カスタンダード
<p>ウ 個人の尊重と法の支配 個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p> <p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割 グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会におけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平和主義の意義について考えさせ、日本の防衛政策や安全保障の現状を理解させる。 ・国会の役割、議院内閣制の意義、裁判所の仕組みについて理解させる。 ・地方自治の意義、住民自治の仕組みについて理解させ、地方分権の動向について考えさせる。 ・国民主権の下における選挙の意義と制度の形態や特徴について理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・技術革新による産業構造の変化や企業の変貌、寡占化の問題を理解させる。 ・市場経済について理解させ、現代の企業の成立と発展について理解させる。 ・様々な経済指標について理解させ、景気の波や国民所得などといったマクロ経済について理解させる。 ・金融の役割、金融の自由化、国際化について理解させる。 ・日銀や政府の役割を理解させ、租税の意義を考えさせる。 ・戦後の日本経済のあゆみ、高度成長から安定成長、バブル崩壊後までの日本経済について理解させる。 ・中小企業の方角性や特徴、日本の農業の現状や問題点について考えさせる。 ・様々な労働問題について理解させ、現在の雇用をめぐる問題について考えさせる。 ・社会保障の意味と必要範囲について理解させ、高齢社会を迎えた日本のあり方を考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦構造の中、核軍拡競争が進行した理由を理解させ、今後について核兵器を取り巻く問題について考えさせる。 ・社会主義経済の変容と市場経済の優位、地域統合の現状を具体例を用いて理解させる。

学習指導要領		都立府中高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p>	<p>る日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p> <p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源やエネルギーの有限性を理解させ、省資源、省エネルギーのあり方を考えさせる。 ・各自治体のごみ問題における対応を理解させ、実生活においてどのような行動をとるべきかを考えさせる。

